

いわて便り

No. 6

2016年 11 月 30 日発行

11 月号

日本生協連
組合員活動部

東日本大震災、今年 8 月の台風 10 号の被災地は、雪が舞う季節となりました。

東日本大震災の復興工事は 5 割が完了し、住まいの再建や街づくりが徐々に進んでいます。



台風 10 号支援 全国からの募金を岩手県に贈呈しました

いわて生協と岩手県生協連は 11 月 21 日に台風 10 号災害に関する義援金等として合わせて 1,900 万円を岩手県に贈呈しました。贈呈式では、いわて生協の内澤副理事長と岩手県生協連の吉田専務理事が岩手県保健福祉部の佐々木部長に目録を渡しました。

岩手県生協連が県内をはじめ全国の生協に呼びかけた緊急支援募金は約 1,400 万円(11 月 18 日時点)が寄せられ、このうち 1,000 万円を義援金、400 万円を家電購入支援金として寄付しました。また、いわて生協では約 600 万円が集まり、このうちバスボランティアや炊き出し支援の費用などの除いた 500 万円(義援金 400 万円、家電購入支援金 100 万円)を寄付しました。佐々木部長からは「発災直後からさまざまな支援をいただき大変ありがたい」と感謝の言葉いただきました。

なお、全国の生協からの募金は 11 月 29 日現在で計 65 生協・県連・団体より 3,540 万円が寄せられています。たくさんのご支援、本当にありがとうございます！



(左から)内澤副理事長、吉田専務、佐々木部長



宮古市での「復興応援生協まつり」 8 生協に出店いただき盛り上がりしました！

11 月 3 日宮古市の店舗で開催した「復興応援生協まつり」には全国 8 生協から出店いただきました。震災から 5 年 8 ヶ月ですが、このように全国から支援を継続していただいていることは、本当に被災地の励みとなります。当日の売り上げの中から計 41 万円の「東日本大震災支援募金」も頂戴しました。遠くからのご参加、ありがとうございました！

《参加生協》(敬称略)コープあおもり、共立社(山形県)、いばらきコープ、コープぐんま、コープあいち、おおさかパルコープ、コープかがわ、鳥取県生協



復興の現状 ～岩手県内の様子～

陸前高田市内には、県内最大の災害公営住宅「県営栃ヶ沢アパート」が完成し入居が始まりました。2 棟で 301 戸、9 階建ての



大きな住宅です。いわて生協の移動販売車「にこちゃん号」も 11 月から販売場所の 1 つとなり、初日はたくさんの利用がありました。これまで仮設住宅で利用していた方からは「また、慣れた商品が利用できるのよかった」と喜ばれています。

岩手県の災害公営住宅は 186 地区に 5,771 戸建設される計画で、これまで完成したのは 67%。最も遅い地区の完成は 2019 年度の予定です。



バスボランティア



10 月 22 日に 161 回目のバスボランティアを開催し、大槌町「菜の花プロジェクト」で活動しました。

「いわて便り 7 月号」で紹介した場所ですが、8 月に襲った台風 10 号により河川敷の菜の花畑が流されてしまい、再度、手入れや種まきを行いました。



ふれあいサロン 昼食会や手芸を楽しんでいます

災害公営住宅への転居や自立再建で仮設住宅に住む方々が徐々に減り、「ふれあいサロン」を終了する仮設も増えてきました。ピーク時は 71 会場でしたが、現在は 44 会場で開催しています。

<陸前高田市：矢作中学校>



みんなで食事を楽しみました。

<盛岡発：大船渡市赤崎大立仮設>



当初から「食の支援」で伺っているサロンです。今回もおいしい昼食を作って食べました。

<滝沢：ベルフ牧野林サロン>



首に巻く W リボンスカーフ作り！
みなさんお似合いです！



ローリングストックを意識してのメニューです。

- ・マカロニぜんざい
- ・とろろ昆布のお吸い物
- ・たまごスープの炊き込みご飯

コープいしかわさんからいただいた新米も美味しくいただきました！

サロンボランティアの声

いままで家族や社協の方々にも口を閉ざしてきた方も、少し離れた立場にいる私たちボランティアには話せることがあるのだという事がわかりました。耳を傾け、心を寄せて、これからも大切な話を聞いていきたいと思います。
(陸前高田市 矢作片地家仮設)

発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

小池、住吉